

中山間地域

# 棚田米 販売戦略 講演会

～実りの「くい掛け」！  
大蕨の棚田米を次世代に承継するために～

中山間地域では、高齢化や人口減少を背景に、担い手や集落活動リーダーなどの人材不足や集落機能の低下の危機に直面しています。この全国共通の難題に対し、棚田を核に地域おこしに奮闘し「美しく活力ある農村」を実現している事例は、全国には数多くあります。

中山間地域の棚田再生を通じた地域の活性化及び棚田米の販売戦略に成功を収めている山形県山辺町「大蕨の棚田」の事例を学び、農業者の所得向上に向けた中山間地域農業の戦略を一緒に考えましょう。

日程

令和元年**12月20日**(金)

入場無料

申込不要

時間

14:00～16:00 (受付開始13:30)

会場

ユートピアくびき希望館 (上越市頸城区百間町716番地)

講師

稲村 和之 氏

おおわらび

山形県山辺町「大蕨の棚田」グループ農夫の会 代表

<稲村氏プロフィール>

1953年山形県山辺町生まれ。山形工業高校卒業後、全農山形県本部管理部長、子会社の食品会社「山形食品」社長などを歴任。2011年にグループ農夫の会設立。2015年に代表を妻の和子氏から引き継ぐ。棚田を開拓した稲村家の14代目六右衛門にあたる。

